

< 機械・農作業の共同化を実施している事例 >

畦塗り機の共同利用と農作業は集落の結いで

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	はなまきしおおはさままち ますざわ 岩手県花巻市大迫町 ます沢			
協定面積 21ha	田(100%) 水稲、葉たばこ等	畑	草地	採草放牧地
交付金額 379万円	個人配分			48%
	共同取組活動 (52%)	担当者の活動経費		4%
		体制整備に関する活動経費		31%
		鳥獣害防止対策及び水路・農道等の維持管理等経費		6%
		その他		11%
協定参加者	農業者 17人			

2. 取組に至る経緯

交付対象となっていた農用地が急傾斜地にあり、また高齢化のため、これまでの個別完結型農業の継続が危ぶまれることから、農機具の共同利用や集落全体での農地管理を行い、集落農業の核となる担い手を育成して農業生産活動を実施していくこととした。

3. 取組の内容

集落内の農道は法面の面積が大きく大雨で崩壊しやすい構造となっているため、バックホウを導入して平成17年度から2年間で農道1.5kmの砂利敷きを実施した。

機械・農作業の共同化の取組としてはトラクターの共同利用を推進しており、水稲作付地の畦塗り作業も協定参加者4名がオペレーターとなって行っている。

また、バックホウにより遊休農地化していた転作田を復旧し、そば等を栽培、平成18年度に女性グループが雑穀料理研究会を立ち上げ、そばの創作料理の試食会や雑穀料理リーダー研修会に参加した。平成19年度からは製粉機を購入して産直販売を目指し商品開発に向けて取り組んでいる。



畦塗り作業



バックホウによる農道整備

[集落の将来像]

農作業機械の共同利用を推進する。
集落農業の核となる担い手を育成して、農業生産活動を行う。



[将来像を実現するための活動目標]

機械の共同利用面積の拡大
認定農業者を中心とした農業生産活動の展開

[活 動 内 容]

農業生産活動等

農地の耕作・管理 (田21ha)
個別対応
水路・作業道の管理 ・水路2.0km、年1回 清掃 年2回 草刈り ・道路4.0km、年2回 草刈り 年1回 簡易補修
農地法面の定期的な点検 (随時)
共同取組活動

多面的機能増進活動

周辺林地の下草刈り (年3回)
共同取組活動
景観作物作付け (花壇を整備し苗の定植 や管理を実施。20㎡に作 付け。)
共同取組活動

農業生産活動の体制整備

機械・農作業の共同化 (トラクターの共同利用を4ha (19%)実施、目標3ha)
共同取組活動
認定農業者の育成 (2名育成(H20)、目標1名)
共同取組活動

集落外との連携

榑沢自治公民館と連携して、花壇の整備、集落行事で世代間交流に取り組んでいる。

4 . 取組による変化と今後の課題等

お互いに農作業を助け合いながら行っており、将来に向けて農業生産活動を継続していく体制が整った。また、新たに認定農業者となった後継者を担い手リーダーとして、育成していくこととしている。

今後は、農業収入の増加を目指し、水稻以外の加工用作物を導入して産直での販売に向けて取り組んでいく。

[平成20年度までの主な成果]

集落でのトラクターの共同利用による営農の効率化・低コスト化
(当初0ha、目標3ha、H20実績4ha)
農道等の補修・改良(バックホウにより1.5km砂利敷き)
遊休農地を復旧しそば等を栽培し、女性グループが雑穀料理研究会を組織
(遊休農地65aにそば等を作付け、生産物の加工に取り組む)
認定農業者の育成による後継者の選定(当初1名、H20実績3名)